

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答

2024/12/1 フレンドリープラザ

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
医療・健康	1	医療機関について	共通	医療問題についてです。北地区にはリハビリ型の総合病院ができる予定でしたが、平成27年に財政的な理由で開院が中止されました。その跡地は現在、ファミリーマートや飲食店になっています。 元山崎市長の時代には、徳洲会病院、印西総合病院、リハビリ病院の3つが予定されていましたが、リハビリ病院と印西総合病院だけが申請されました。医療関係は非常に厳しい状況です。何とかしてください。	病院については、もう少し勉強が必要です。印西市は全体の指標では平均以上ですが、アクセスが悪いという問題があります。バスの話と併せて改善を考えています。 印西市には在宅医療の指標が平均を下回っている部分があります。市として何かできないか、研究が必要です。産婦人科や24時間対応の小児科についても声が上がっており、担当課と議論しています。	—	健康増進課
	2	道路整備について	464号線沿い	464号線のごみ問題についてです。国道であるため、なかなか改善されません。警察署と連携し、道路使用規制を行い、ごみ拾いのイベントを開催してほしいです。警察が関与することで道路整備がしやすくなり、パトカーがあると車の運転も改善されると思います。	464号線の渋滞とごみ問題についてです。ごみ問題については、年に1回、464号線から大塚方面に行けるトンネルで、市内の事業者がボランティアでごみ拾いを行っています。今日も通ってきましたが、だいぶきれいになっていました。こういったイベントを開くことで、市民の意識も高まると思います。ご意見を参考に、何かできることを考えていきたいと思っています。	—	道路建設課
	3	防犯対策について	共通	防犯対策についてですが、我が家は空き巣に入られたことがあります。最近、闇バイトも増えており非常に怖いです。木刈4丁目に防犯カメラを設置するなど、警察と協力して検討してもらえないでしょうか。	防犯カメラと闇バイトについてです。闇バイトは警察と連携しながら啓蒙活動を広げていく必要があります。子ども達が巻き込まれてしまう可能性があり、人生が大きく変わってしまいます。教育委員会とも連携を図りたいと考えています。	—	市民活動推進課
	4	交通安全について	共通	3丁目や4丁目には以前は住宅がなかった場所にも住宅が建ちましたが、横断歩道が整備されていなかったり、横断歩道がないところを渡ったりしています。これらの点について対応をお願いします。	横断歩道と通学路について、担当部と相談します。小倉台小学校から一番遠い子ども3キロ以内ですが、安全性が特に重要です。低学年の子どもが多い地域なので、再度確認して対応を考えます。	横断歩道の管理については、警察で行っておりますので市に横断歩道の設置や塗り直し、修繕等の要望が寄せられた場合は、印西警察署へ対応を依頼します。	市民活動推進課
	5	交通安全について	戸神	戸神から小学生が多く歩いてきます。また、この辺りでは大人が車道を横断することが多く、教育に良くないと感じます。柵が途中までしかないので、延ばすことを検討してほしいです。		通学路については、通学路の危険箇所点検を市内全小中学校で6月から8月の期間に実施しています。 そして、その危険箇所に関する安全対策の検討を関係機関（印西警察署交通課・生活安全課、印旛土木事務所維持課、印西市都市建設部道路建設課・土木管理課・市民部市民活動推進課、通学路安全対策アドバイザー）と連携して実施しております。 また、令和6年10月10日には、小倉台小学校の管理職と関係機関職員で、通学路の安全点検を実施しました。今後も実際に大型車両通行禁止については、継続して印西警察へ対応を要望します。	市民活動推進課 指導課
	6	交通安全について	戸神台	戸神台から来ていますが、小学生の通学の安全性をもっと考えてほしいです。		市民活動推進課 指導課	
	7	道路規制について	共通	フレンドリープラザの前の通りは大型車通行禁止になっています。今年、市に要望を出し、何回か警察に取り締まりをしてもらいましたが、その後あまり取り締まりが行われている様子がありません。通行禁止の取り締まりについて、警察と連携して対応してほしいです。		市民活動推進課	
	8	街灯について	共通	まちの街灯が少なく、夜の散歩をする時に暗くて怖いと感じることがあります。街灯を増やしていただきたいです。	街灯についても多くのご要望をいただいています。町内会等の希望や必要な場所を確認しながら、街灯を増やせるか検討してまいります。	—	市民活動推進課
	9	街灯について	共通	私は車で移動していますが、街灯が少ないことが目立ちます。			

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/1　フレンドリープラザ		
分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
インフラ・防災・防犯	10	公園の整備について	共通	浦畑新田公園をいつも利用していますが、6月から10月ごろまで草が30～40センチも生えています。刈った草も処理されずに放置されています。固定資産税が50億円あると聞きますが、公園の整備は全く改善されていません。市の担当課と交渉していますが、予算がないと言われていました。公園の整備をお願いします。	草刈りについて確認します。草刈りの回収は別の事業者をお願いしているため、タイムラグがあるとのことです。他の地区でも同様の問題があるため、再度確認します。	浦畑新田公園については、通年の公園管理業務委託において年2回の集草ありの芝刈と年4回の集草なしの芝刈を組み合わせ、合計6回実施しています。引き続き、現地の状況に合わせ、芝刈実施時期を調整するなど、適切な公園管理に努めてまいります。 ※集草ありの芝刈(5月、7月)、集草なしの芝刈(6月、8月、9月、10月)	都市整備課
	11	交通量について	共通	物流センターが急増し、交通量が増えています。特に通学路の歩車分離式信号の導入を検討してほしいです。	物流交通量で、安全性の話ですよね。大型車の取り締まりと絡めて、警察の方と連携をとっていききたいと思います。	—	市民活動推進課
	12	交通量について	共通	大型商業施設が増え、週末の交通渋滞が激しくなっています。464号線の下の道など交通インフラは整っていますが、もう少し改善できないかと考えています。		—	道路建設課
インフラ・防災・防犯	13	ふれあいバスについて	共通	今年の卒論で「印西再発見」というテーマで書きました。印西の隅々まで歩きましたが、高齢になって動けなくなり、ふれあいバスを利用しました。しかし、ふれあいバスは非常に不便です。行きは調べて利用できますが、帰りのバスが全くない状況です。この点を改善していただきたいです。	ふれあいバスは使いづらいところがありますよね。本数が少なく、ルートも中途半端なところもあり、現場の職員も悩みながら運営しています。年間利用者は25万人に達していますが、民間路線バスとの重複が問題です。来年度後半にはバスのルート変更や病院を通る新しい路線の新設を予定していますが、乗り換えの限界もあります。 究極的には個別の手段が必要です。本埜地区ではタクシー券の助成を始めており、来年は調整区域全体に広げることを議論しています。ニュータウンの方々も不便になる可能性があり、免許返納後の対応が大きな問題です。来年度の公共交通計画の見直しで、職員と共に今後の対応を考えていききたいと思います。	—	交通政策課
インフラ・防災・防犯	14	ふれあいバスについて	共通	ふれあいバスのバス停に長椅子を設置してほしいです。大森から来る方々が長時間待つことがあり、荷物を持って待つのは大変です。	長椅子の必要性は痛感しています。貴重なご意見ありがとうございます。	—	交通政策課
インフラ・防災・防犯	15	北総線について	共通	北総線ですけど、回数券がなくなりました。東京に1週間に3回行きますと、1ヶ月3万ぐらいかかるんです。回数券を元に戻して欲しいです。	北総線の回数券はとても便利でした。現在も1日乗車券があり、土日祝日に往復で利用できます。先日、京成の方にも伺い、北総の親会社とも話をしました。経営者同士で話し合い、もう少し何かできないかと交渉しています。	—	交通政策課
教育・子育て	16	学校の空調設備について	共通	私たち吹奏楽部は、夏のコンクールに向けて日々練習していますが、最近人数が増え、練習場所にエアコンがないため、特別室の第2多目的室での練習が難しくなっています。楽器の音の高さを合わせづらく、練習時間が減ったり、音程を合わせるために音出しを長くしなければならない状況です。何とか対策をお願いしたいです。	多目的室や特別教室について、まず優先して空調を導入する計画です。普通教室にはすでに空調が入っており、次に多目的室や家庭科室、理科室、配膳室に空調を導入します。特に夏の猛暑の中で衛生面も考慮し、これらの教室に空調を設置する予定です。 次に、体育館の空調についても公約に書かせていただきました。子供たちが安心して運動できる環境を整えるため、特に中学校の部活動において重要です。また、災害時には避難所として利用されるため、空調の設置が必要です。まずは中学校区ごとに空調を導入し、理想としては1期目の間にすべての中学校の体育館に空調を設置するように進めています。	—	教育総務課
	17	学校の空調設備について	共通	防災面で中学校の空調整備について話がありましたが、体育館などにも空調を整備し、避難所になった場合の環境整備を改善してほしいです。		—	

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/1　フレンドリープラザ		
分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
教育・子育て	18	病児保育について	共通	保育園が多く、子育てに助かっていますが、病児保育の枠を増やしてほしいです。他の市町村では金額を助成しているところもあり、無料で提供しているところもあります。子供が3人いるため、一気にかけると毎月1万円近く移動費がかかります。親も感染することがあるので、助成があると助かります。	—	病児保育の枠については、令和5年度から7人に拡大していますが、引き続き利用者のみなさんのニーズを把握しつつ、事業の充実や利便性の向上について検討していきたいと思います。	保育課
教育・子育て	19	性教育について	共通	性教育の充実についてですが、性教育は命の教育です。国や県からの指導が少ないため、印西市として幼少期から性教育を行ってほしいです。助産師さんを活用し、学校の先生方の研修が追いつかない部分を補っていただきたいです。助産師さんは命に常に向き合っている方々ですので、適任だと思います。	性教育の充実については、私もまだ勉強中ですが、先生方も同じ状況かと思います。今日いただいたコメントは教育委員会にフィードバックさせていただきます。印西市には前向きに取り組んでいる助産師さんが多い印象がありますので、しっかりと教育委員会にお伝えします。	—	指導課
教育・子育て	20	学校の騒音問題について	共通	学校への騒音苦情が多く、学校活動や地域活動が制限されています。耐え難い騒音であれば苦情は当然ですが、寛容な尺度を設け、制限が厳しくなりすぎない施策が必要だと思います。	騒音苦情問題についてですが、子どもは騒いでなんぼだと思います。今日も後ろにお子さんたちが来てくれているのは、場の雰囲気良くしてくれています。子供たちは地域の活力であり、宝です。市から自治会や町内会にお邪魔する際には、ご理解いただけるよう努めます。市としては、全面的に子供たちの味方であるべきだと考えています。	—	指導課
教育・子育て	21	世界一の教育について	共通	世界一の教育についてお聞きしたいです。	子供たちが自分で生きていく力を養うことが重要だと思います。正解がない社会になりつつあるので、自分で答えを見つける力が必要です。そのためには、子供たちに多くの武器を与えることが大事です。その1つはデジタル教育です。どこに行ってもデジタルから逃げられないため、早急に全市に導入する必要があります。原山小学校ではデジタル教育が進んでおり、元校長先生がDX推進役として教育委員会に來ています。来年度はさらに体制を強化したいと考えています。	—	指導課
教育・子育て	22	学校の多様性について	共通	—	学校においても多様な選択肢が必要です。学区ごとに学校があるのが通常ですが、学びのスタイルに合わない人が増えています。支援級のニーズや不登校の子供も増加しています。公式には300人程度と言われていますが、経済的な部分を含めるともっと多いかもしれません。市として不登校支援に本腰を入れる必要があります。来年度から民間のフリースクールへの支援を検討中です。また、学校内にフリースクールを設けることも考えています。学校内のフリースクールは連続性を持たせるために重要で、最近増えている自治体もあります。印西市の中学校でも一部取り組んでおり、小学校からも導入できるよう検討を進めています。	—	学務課
地域づくり	23	地域の魅力発信について	共通	地域の魅力をアピールするために、マラソン大会やウォーキングイベントを開催し、里山の自然を紹介したいと考えています。	地域の魅力発信は重要です。来年4月には市民が企画する印旛沼エコマラソンが開催されます。ウォーキングやマラソン大会を市としても進めていきたいと考えています。市民の指導を受けながら行政が支える形がうまくいくのではないかと考えています。	—	スポーツ振興課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/1 フレンドリープラザ		
分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
地域づくり	24	町内会の在り方について	共通	町内会はこれまで良い活動をしてきましたが、周りの方々の高齢化が進み、班長を辞退する人が増えています。また、共働き世帯が増えているため、育児、家事、仕事、町内会の仕事を両立するのが難しいです。町内会のあり方を改めて考えていただきたいです。	町内会や自治会は限界に達していると思います。昔と違って成り手がいません。専業主婦の方も少なく、皆さん何かしら働いています。シニアの方々も70歳を超えて働いている方が多く、自治会や町内会を維持するのは非常に難しいです。現在のマニフェストでも地域のコーディネーターを提案していますが、自助共助を支える新しい仕組みを作らないと限界に達していると思います。	—	市民活動推進課
地域づくり	25	クリーンセンター跡地利用について	大塚	印西クリーンセンターの跡地利用について、何度か話し合いが行われました。敷地の20%から30%は印西市の所有地です。白井市と栄町の市長や町長から、印西市がその跡地を購入し、市役所や文化ホールとして利用する案を何度か聞いています。	クリーンセンター跡地は市の貴重な財産ですので、しっかり活用を考えたいと思います。市の中心にあり、あれだけの土地は他にありません。ただ、都市景観も非常に重要です。銀杏並木や緑が多いことがまちの価値を高めます。住民が心地よく住めるだけでなく、不動産価値にもつながります。これは地域の方々にとっても多くのメリットがあります。都市計画条例を含め、公民一体でどう進めていくかを考えたいと思います。	—	クリーン推進課 企画政策課
地域づくり	26	まちの景観について	木刈・小倉台	このフレンドリープラザは市民参加で設計され、2回地元の町内会までおろして設計しました。同じような話を皆さんにぜひ知ってもらいたいと思います。この記事は千葉日報の8月5日に掲載されたもので、木刈小倉台の都市景観について書かれています。説明する時間はないので、受け付けに資料を置いてあります。興味のある方は持ってってください。どこがすごいかというスポットの説明です。	県外に住む弟が帰って来た時に、木刈2丁目を見て「こんな住みやすそうなところ、いいね。ここは白井かな？」と聞かれ、「印西市だよ」と答えると驚かれました。URのエリアも含めて、このまちは非常に良いところです。先輩たちが住みやすく素敵なまちにしてくれた一例だと思います。気になる方はぜひ見てみてください。	—	都市計画課
地域づくり	27	財政状況について	共通	広報いんざいを拝見しました。市税が大分増えているようですが、市税の内訳がわかりません。住民税や固定資産税などです。グーグルなどの企業が増え、給料をもらっている人が増えていると聞いています。東京都ではワクチン接種の補助を出しているようです。	市税の使い方がわからないという意見は本当にその通りです。次回の場で財政の説明会を開催したいと思っています。安芸高田市の石丸市長は元銀行員ですが、私も元銀行員で9年ほど勤務していました。政府系の金融機関で予算を作成していた経験もありますので、今回は市税の使い方についてよりわかりやすく説明したいと思っています。	—	財政課
地域づくり	28	東京電機大学キャンパスの跡地利用について	武西学園台	まちづくりの観点から、東京電機大学のキャンパスは大きな比重を占めています。キャンパス誘致について、まちづくりのシンボルとして誘致されたと思いますが、その時の有利な条件がいくつかあったのではないかと考えています。このような長期にわたる休校がその時点で問題になっていなかったのか、現状の休校状態をどのように把握しているのか疑問です。	東京電機大学のキャンパスはまだ大学が所有していますが、ほぼ使われていない現状があります。現在、交渉を進めていますが、期限を設ける必要があると考えています。先方との話し合いもあり、定期的にコミュニケーションを取っています。最終的にはトップ同士の交渉となるため、しっかりと進めていきたいと思っています。	—	企画政策課
地域づくり	29	東京電機大学キャンパスの跡地利用について	武西学園台	東京電機大学のキャンパスの利用についても早めに考えていただきたいです。			

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/1 フレンドリープラザ		
分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
地域づくり	30	データセンターについて	共通	データセンターの乱立問題についてです。具体的には、白井市の社会保険大学跡地にデータセンター計画が進行中です。白井市はまちづくり条例を用意し、規模や景観について交渉を進めています。当市はこの乱立についてどのような観点を持っているのか。税収が上がれば良いという話がありましたが、機械の償却が早いため、財源がすぐに少なくなる問題があります。	千葉ニュータウン中央駅圏の商業用地やデータセンターの立地問題は非常に大きな問題だと思っています。駅前でもデータセンターが増えていますし、牧の原駅周辺でもデータセンターが出来ています。多くの声をいただいています、現状では止められません。地域に配慮しながらデータセンターや事業者と交渉していますが、根本的には条例を含めた対策が必要です。ゾーニングの考え方を取り入れ、駅前の生活圏にふさわしい施設を考える必要があります。今後、責任を持って進めていきたいと思っています。担当課にも進めていくべく今、指示を出したところです。	—	都市計画課 経済振興課
地域づくり	31	医療機関と高校誘致について	共通	病院と、高校の誘致をしてほしい。	高等教育についてですが、印西には高校が1つしかありません。これは歴史的な経緯によるものです。佐倉市は元々城下町で地域の中心だったため、複数の高校があります。私も佐倉高校出身ですが、東南西と4つの高校があります。少子高齢化の中で新しい学校を作るのは難しいですが、切り口を変えて取り組む必要があります。4年では難しいですが、10年のスパンで実現を目指しています。	—	健康増進課 企画政策課
地域づくり	32	研究機関と高校の誘致について	共通	高等教育についてですが、先ほど東京電機大学の話もありました。印西市の特性を考えると、研究機関や高等教育機関の誘致を進めるべきだと思います。具体的に進めているものがあれば教えてください。	最近、四国に理系の6年制高校ができました。起業家を育てるために起業家が資金を出し合って作った学校です。印西でも例えば、原山小学校では日本で一番のデジタル教育が進められており、それを全市に展開しようとしています。デジタルの観点で進んだ高等教育機関や研究機関を誘致する可能性もありますが、時間がかかると感じています。	—	企画政策課
地域づくり	33	商業施設の誘致について	共通	商業施設に関してですが、駅前にマンションが建設されましたが、何か物足りない感じがします。イルミライ印西を開催していただいているのですが、商業施設の誘致や開発が進むと良いと思います。	—	千葉NT中央駅周辺は充実した都市インフラが整い、多くの商業・業務施設が集積するとともに、良好な居住環境が構成されています。今後も駅前の地域特性や都市環境を活かした魅力ある商業・業務施設の立地促進が図られるよう努めてまいります。	経済振興課 都市計画課
地域づくり	34	スマートシティと連携したまちづくりについて	共通	市長は「世界モデルのまち印西」を掲げていますが、具体的に何を行うのか。スマートシティの例として柏の葉キャンパスがあります。ここではスマートシティと連携したまちづくりが進められています。市長は市民の声を反映させたいと公約していますので、ぜひお願いしたいです。	世界モデルの話、まちづくりのビジョンについてですが、そのあたり、コンパクトシティも関わってきます。まちづくりの方向性としては、大きく2つのエリア、つまり千葉ニュータウンと言われるエリアとそれ以外のエリアで方向性が異なると考えています。ニュータウンについては、住みやすい町を追求し、環境との調和、自然との近さを再確認する必要があります。この町を選んだ方々は、それを望んでいると思いますので、次の世代に向けて実現方法を考える時期にきています。 例えば、印西市では市街化によるアスファルト舗装により、雨水の地下への浸透が減少しています。例えば亀成川の脇の田んぼでは、地下水が湧き上がりホタルが生息していましたが、それが失われつつあります。グリーンインフラという考え方は、環境にやさしく、防災にも強く、自然との近さが幸福度に関連することが実証されています。次の時代に新しいラーバンを作る方向性が求められていると考えています。 また、在来地区は分散型のまちづくりが適していますが、コスト的に持続可能ではありません。例えば水道問題ですが、県の水道が通っている地域と市営水道の地域があります。市営水道は県から水を購入しており、赤字になっています。 持続可能にしていくには、分散化が必要と考えています。例えば、電気は各家庭で発電し、蓄電池で貯めて使用する。また、ガスは電化し、水は井戸を利用し、品質が悪い場合は浄水器や水の購入費を助成する方法があります。 印西市は成田空港に近く、都市との距離が近い緑豊かな地域として大きな可能性を持っています。自動運転車の普及により、低コストで市内の移動が可能になる時期が来るでしょう。市民の皆さんと一緒に「いいまち」を作っていくビジョンを示すのが私の仕事と考えています。 なお、まちづくりにおいてももう1つ大事なのは、公共施設の配置です。よく聞かれるのは市役所です。今後、市民皆さんとの対話を続けながら、適切な場所に公共施設を配置したいと思っています。	—	企画政策課
地域づくり	35	まちづくりのビジョンについて	共通	印西市のまちづくりのビジョンをもう少し明確に定めたほうが良いと思います。3つの施策は素晴らしいですが、限られた予算とメンバーで行うため、もう少し明確にする必要があります。		—	

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/1 フレンドリープラザ		
分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
地域づくり	36	海外の自治体との連携について	共通	印西はシリコンバレーに似た立地だと思います。この立地をいかに利用するかが重要です。同じような海外の自治体と姉妹都市を結び、情報共有しながら誘致計画を進めることが考えられます。企業をうまく利用し、東京電機大学の問題も連携しながら、教育関係のトップダウンの仕組みを作ることが必要です。	海外の自治体の世界モデルも参考にしながら、連携を深める必要があると思います。いろんな海外の自治体を見ていますが、今のところ参考になる具体的な例は思いついていません。ただ、福岡市は空港と市内が近く、様々な産業が集まっています。福岡市はシアトルをモデルにしています。参考になる自治体を見つけるために、アンテナを伸ばしているところです。	—	企画政策課
地域づくり	37	インバウンドについて	共通	インバウンド関係で、例えば、東国三社巡り。こういったものは非常に市のアピールになるかと思います。	まちの魅力を高め、都市と自然が融合し、持続可能なまちを目指します。印西市の自然の豊かさを象徴するシンボリックな施設を作ることが目標です。海外の方々も印西市を訪れる際に、その魅力を感じてもらえるようにしたいです。スカイライナーで通る方々も見えていますので、それがインバウンドに繋がると 생각합니다。ただ、忘れてはいけないのは、主役は市民の方々です。まずは市民にとって良い場所にすることが、最終的にはインバウンドに繋がると考えています。	—	企画政策課
地域づくり	38	市民アンケートについて	共通	市長は40歳と若いですね。私はその倍近く生きていますが、市役所づくりにおいて、地域の皆さんや市民に対してアンケートを実施し、ニーズに沿ったやり方をすることが重要だと思います。専門部会を作り、議会を中心に方向性を示す意見が多いので、その部分を進めるためにも、すべての課題についてアンケートを聴取し、詰めていくのが良いと思います。	参考にさせていただきます。	—	企画政策課
地域づくり	39	地域間の問題について	共通	地域間の問題についてですが、私は平成2年から印西に住んでいます。以前はニュータウンの人たちが後から来たのにうるさいと言われることがありました。この意識の違いは、既存地域とニュータウンの間にあると思います。また、公共施設が既存地域に多いのに、そこへ行く交通手段がないことも問題です。木刈中学校はニュータウンだけでなく、既存の永治地区も含まれていますので、その点も考慮していただきたいです。	地域間の意識の話は、地域間の交流をどう作っていくかが重要だと思います。例えば、自然豊かな地域のまちづくりの中で、最近耕作放棄地を利用して市民農園を立ち上げてくれた方々がいます。里山の保全をしている方々も多く、ニュータウンの方々と地域の方々の接点を作ることで、徐々に繋がりができるまちを目指しています。 印西市には良い方が多く、ニュータウンに関係なく話せば仲良くなれると思います。そんなまちを作っていきたいと考えています。	—	市民活動推進課
地域づくり	40	まちづくりについて	共通	市長は世界モデルのまちづくりと、マニフェストを書いている。基調講演ではなく、市民にお話ください。	参考になるというような都市はなく、新しく作り、世界中の誰からも真似したいと思われることが、世界のモデルのまちだと思います。ちゃんと伝える場を設けたいと思います。	—	企画政策課
地域づくり	41	対話会について	共通	今日の会合には時間のセットがなく、皆さんが話すと「時間です、時間です」となってしまいます。環境省の前例にならないようにする必要があります。 住民の方々の意見をまとめてフィードバックすることも大事だと思います。	この場の設定については、当初こんなに盛り上がるとは思っていませんでした。もう一度考え直したいと思います。フィードバックについては議事録を公開し、今回お答えできなかったことについては市の方針を書いてお返ししています。しかし、初めての取り組みであり、議事録の作成は職員にとって負担が大きいです。もうしばらくお待ちいただけるとありがたいです。	—	秘書広報課
市役所づくり	42	市役所庁舎について	共通	市役所は古いです。災害時には利根川の堤防が切れた場合、水が入ってきたときに役に立ちません。その対応策として、どうしていくのか、少なくとも10年以上かかります。だから、それをどうしていくか、今回市長はお若いですから、例えば、2期とかそういうことではなく、3期4期やっていく上で、その中で一番大きな箱物を全体を考える上で、防災対策などを考える上で大きいのではないかと思います。少なくとも、今の木下にあるものをどうしようもないんです。だからどこかに移すためには用地、その辺のところを対策を打たないとだめだと思います。	本庁舎の問題は大きいです。建設には100億円以上かかり、その資金があれば住民サービスの向上も可能です。新しい学校の建設も公約に掲げており、原小学校の分離新設の話もあります。財源の確保と市民にとって良い市役所のあり方を専門部会などを立ち上げながら共に考えていきたいです。	—	総務課

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/1 フレンドリープラザ		
分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
市役所づくり	43	市長の時間について	共通	市長がいかに多忙かをよく存じています。皆さんにも知っていただきたいのですが、市長は多くの会議やイベントに参加しており、本当に時間がない方です。皆さんの意見を消化する時間がないこともあると思います。事務方としては、会議の見直しを行い、市長が政策を考える時間や家族との時間を作ることが必要だと思います。	温かいお声をありがとうございます。市長の時間の使い方についてですが、副市長2人を置くことで、市長の役割を2つに分けることができます。1つは対外的なイベントへの参加、もう1つは市政を動かす経営者としての役割です。民間企業では、経営者が市政を動かす役割に時間を使い、対外的な役割は会長が担当することが多いです。市長が1人で両方を行うのは限界があります。 市議会で認めていただければ、副市長2人制を導入し、市長の時間の使い方を見直し、より良いまちづくりを進めていきます。	—	秘書広報課
市役所づくり	44	副市長2人制について	共通	市長は忙しいです。29日金曜日、副市長2人制にされていると思いますが、副市長2名もご多忙ですので、部下をしっかり活用してください。	2人目の副市長については、新施策を担当する「攻めの副市長」として考えています。理想としては、民間経験があり、行政のことも理解している方です。主要省庁のこともわかっている方が望ましいです。	—	人事課
市役所づくり	45	人事について	共通	望みたいことは、特に中央地区のまちづくりについてです。理想的なまちづくりを目指してきましたが、現実には課題もあります。例えば、石置の補修後に簡単なスタッフに変わってしまうことです。副市長には中央省庁と会話ができる方を人選していただき、高適な理想と現実問題を調和できるような形でまちづくりを進めてほしいです。		—	人事課
市役所づくり	46	特別職の給与について	共通	民間の方が市の行政に携わるのは難しい面もあると思います。給料が安いので、もっと高くしたほうが良いです。	民間と比べると、絶対値では高いですが、同じような職に就いている民間の方と比べると安いのかもかもしれませんが。	—	人事課